



SKETCH
HOIKUEN

発行日 令和7年12月1日

スケッチ保育園

早いもので、今年も後1ヶ月となりました。今年は夏から秋にかけて急激に寒くなり、かぜでお休みしたお子さまもたくさんいました。園ではこまめな手洗い・うがいを呼びかけ、かぜ予防をしています。ご家庭でもお子さまの体調管理に十分な配慮をお願いします。

●○インフルエンザ○●

今年は全国的にインフルエンザの流行が早まり、ウイルスの変異株サブクレードKが猛威を振るっています。通常のインフルエンザと同じく手洗い、うがい、マスク着用、換気等で予防を心がけましょう。多忙や睡眠不足などもかかりやすくなってしまいますので生活習慣にも気を付けましょう。

インフルエンザの症状かなと思ったら医療機関を受診し、診断を受けましょう。また、療養が終わり登園許可を頂いても、普段の食事が摂れる、機嫌が良く全身状態がいいことが登園基準となっています。

《家庭内で感染者が確認された場合》

- 感染対策の為お休みのご協力をお願いします。
- 在園児が罹患し療養期間が終了後に家庭内で感染者が発生した場合は、家庭内で送迎できる方がいる場合は、登園可能になります。

感染性胃腸炎が流行り始めています

- ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合もあります。
- 下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんと行いましょう。



《処理手順》

準備

- ①使い捨て手袋、マスク、ガウン、塩素系消毒液(0.1%次亜塩素酸ナトリウム液)、ペーパータオル、廃棄用のビニール袋。
- ②嘔吐物処理用のバケツに、消毒液を作成する。
※消毒液は、使用直前に作成し、日光の当たらない場所に保管する。

嘔吐物の処理:

- ①嘔吐物の場所を確認し、周囲に飛び散った可能性がある為、半径2メートルの範囲をペーパーで覆う。
- ②嘔吐物をペーパータオルで優しく取り除き、廃棄用のビニール袋に入れる(この際、飛び散らないよう注意)。
- ③嘔吐物を取り除いた後、消毒液を使用し汚染された床や壁を消毒する。消毒液は、十分に浸透させ、10分間放置する。

後処理:

- ①使用した手袋やガウンは、外側に触れないように注意して脱ぎ、廃棄用のビニール袋に入れる。
- ②処理が終わったら、手をしっかりと洗い、消毒を行う。手洗いの際は、爪や指の間もしっかりと洗う。
- ③処理に使用した物品がすべてビニール袋に入っていることを確認し、口元をしっかりと縛って廃棄する。